



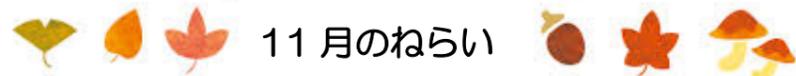
11月の園だより

令和4年11月2日
鶴来第一幼稚園
園長 大角 智恵美

緑一色だった山が、赤や黄色に染まり、紅葉がとてもきれいな季節となりました。白山では雪が降り、遠くから眺めても白くなったのがわかります。秋から冬へ、バトンが渡されようとしています。

夏から秋への移行はなんとなくの寂しさを感じますが、秋から冬は周囲が色とりどりに変化したり、いろいろな美味しいものが出回ったり、ハロウィンなどのイベントも多く、にぎやかに感じますね。一昨日は園内でもハロウィンを楽しみました。年長さんが手作りの衣装を着てランウェイを歩き、思い思いのポーズを決める姿はなかなかかっこよかったですよ♪秋の楽しかったことはブログやてのりでも紹介してますので、見てみてください。

もうしばらく秋の余韻を楽しみながら、すこしずつ表現会に向けての活動にも取り組んでいきます。友達と協力して一つのことに取り組む中で、それぞれの年齢に応じた経験をしてほしいなと思います。今月もどうぞよろしくお願い致します。



11月のねらい

先日行った収穫祭では、ご飯を炊くかまど3つ、めった汁の鍋2つ、そして焼き芋台1つが園庭に並びました。すべて薪で火を焚いて調理しました。子どもたちにとって、なかなか見かけない光景だったのではないのでしょうか。それとは別に、給食室で炊いてもらったサツマイモご飯もあったのですが、ご飯はほぼ空っぽになりました。給食さんに聞いたら、いつもの倍のお米を食べたようです！自分たちが育てたもので、秋晴れの下で食べたおにぎりやめった汁は特別美味しかったのかもしれないね。

今、畑では大根がすくすくと育っています。年長さんが一人一本ずつ、名前を付けて育てています。自分の大根となると愛着が湧き、生長が気になり、自然とお世話したくなるようです。誰の大根が一番大きくなるかな？一番おいしい大根は誰のかな？収穫が楽しみです。



- つくし** ○生活に必要な習慣がわかり、簡単な身の回りのことを自分でしようとする。
○秋の自然物や身近な音楽に親しみ、それらを使った遊びや体の動きを楽しむ。
- なのはな** ○保育者や友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。
○秋の自然物に触れて遊ぶことを楽しむ。
- 年少** ○自分の思いを伝えながら友達と遊ぶ楽しさを味わう。
○自分なりに表現することを楽しむ。
○秋の自然に触れ、いろいろな発見をしたり、自然物を使ったりして遊ぶことを楽しむ。
- 年中** ○健康な生活に必要な活動に見通しを持ち、友達と遊びを進める楽しさを味わう。
○一人ひとりが自分の思いや考えを表現し、友達と伝えあいながら活動する。
○晩秋から初冬への身近な自然の変化に触れ、発見を楽しみ、不思議さやおもしろさに興味を持つ。
- 年長** ○自然の変化を遊びや生活に取り入れたり、自分たちで生活を進めていったりすることを楽しむ。
○共通の目的に向かって、互いに思いや考えを出し合って、共に遊びを進める楽しさを味わう。
○様々な方法を考え試したり、工夫したりしながら表現するおもしろさを味わう。

○歯科検診のお知らせ

11日（金）に歯科検診があります。年少以上のお子さんは、当日は名前を書いた歯ブラシを持たせてください。

◇大人向け本の貸し出し始めます◇

職員室の前に大人用の本棚を設置しました。園内に入っただけで構いませんので、どうぞお手に取って見てみてください。貸し出しも行います。貸し出しノートを置いておきますので、借りるときは【借りた日・氏名・借りた本の名前】を記入してください。秋の夜長、読書に耽ってみるのはいかがですか？

【表現会について】

学年別に、下記の日程で行います。表現会に向けて、楽しみな子も少し緊張する子もいると思います。どちらも成長に大切な心の動きです。周りの大人はゆったりとした気持ちで受け止めてあげたいと思います。詳しい時間等が決まりましたらお知らせいたします。

○12月17日（土） 午前：年少 ⇒なのはな ⇒年中 午後：年長

※つくし組さんは表現会への参加はありません。（行事のため、土曜保育もありません。）

12月3日（土）に懇談会と親子参加のお楽しみ会をします。



先日、神奈川県にある「銀河の森プレイパーク」で活動されている高子未乃梨さんという方のお話を聞く機会がありました。プレイパークというのは、冒険遊び場とも呼ばれ、第二次世界大戦中のデンマークで始まり世界中に広まりました。イギリスでは国家政策となっているそうです。イギリスの冒険遊び場のモットーは ” better a broken bone, than a broken spirit（心が折れるぐらいなら骨が折れる方がまだ） ” だそうです。日本にも全国で400か所以上の冒険遊び場があるそうです。[子どもの育ちには、安心して失敗できる環境と自分だけの力や知恵で体験のできる挑戦、仲間と協力する喜び、それを温かく見守る大人の目が必要。遊びの主役は子ども本人。自分の責任で自由に遊ぶ。いろいろなことにチャレンジしてもいいし、のんびりぼーっとしててもいい。子どもの「やってみよう！」ことが一つでも実現できるように、汚れることや、危なっかしいことも、ただ禁止するのではなく一緒に考えてやってみる。乳幼児期はその人の根っこが育つとても大切な時だから、ケガもケンカも遊びの中でいっぱい経験し、人としての太くて強い根っこを育ててあげたい。] そんな思いで活動をされているそうです。また、冒険遊び場は赤ちゃんからお年寄りまでが遊びにやってくる地域のコミュニティの場でもあり、貧困や虐待などから子どもを守る場でもあり、さらには地震や洪水などの被災地支援も行っているそうです。

高子さんのお話を聞き、理想の場所だなと思いました。鶴来第一幼稚園が、子どもも大人も育ち合える場所になれたらいいな~と思います。みなさんからもやってみようことをお聞きしながら園づくりをしていきたいと思っておりますので、思いのある方はぜひお声がけください！



10月は運動会に始まり、親子レクリエーション、ようちえんバザー、そして収穫祭とイベントが盛りだくさんでした。お仕事やご都合もある中、保護者のみなさまにはたくさんのご協力をいただきました。特にバザーでは、「子どもたちのために」というみなさんの熱いパワーに、頭が下がる思いです。誠にありがとうございました。